

授業概要

暗号資産とは、従来の仮想通貨のことである（2019年3月15日に暗号資産に関する法改正が閣議決定され、今まで「仮想通貨」と呼ばれていた名称が「暗号資産」へと変更された）
ブロックチェーンは、分散型ネットワークを構成する複数のコンピューターに、暗号技術を組み合わせ、取引情報などのデータを同期して記録する手法である。暗号資産に使われている技術がブロックチェーンであると言える。本講義では、暗号資産の種類や現状の普及状況を理解する。ブロックチェーンは、暗号通貨で使われているだけでなく、今後は、この技術を使って新たな活用の可能性もあるので、授業でいくつかの例を説明し理解させたい。

授業計画

| | |
|--------|----------------------|
| 第 1 回 | 暗号資産の意味と概要 |
| 第 2 回 | 暗号資産の種類と主な暗号資産の説明 |
| 第 3 回 | 暗号資産の活用と課題 |
| 第 4 回 | 金融システムと暗号資産 |
| 第 5 回 | 世界の暗号資産と日本の取り組み |
| 第 6 回 | ブロックチェーンの説明 |
| 第 7 回 | ブロックチェーン技術の特徴 |
| 第 8 回 | ブロックチェーン技術の種類 |
| 第 9 回 | ブロックチェーン技術の活用 |
| 第 10 回 | ブロックチェーン技術を使ったビジネス |
| 第 11 回 | ブロックチェーン技術を使った情報システム |
| 第 12 回 | ブロックチェーンとセキュリティ |
| 第 13 回 | 暗号資産とセキュリティ |
| 第 14 回 | これまでの学習内容のまとめ |
| 第 15 回 | 内容理解のための筆記試験の説明 |
| 第 16 回 | 筆記試験の実施 |

到達目標

1. 暗号通貨とブロックチェーンを理解し、技術的な概要を理解できる。
2. ブロックチェーン技術とそれを使ったサービスが生み出す新たな価値や可能性を認識できる。

履修上の注意

特になし

予習・復習

各講義の前後 1 時間

評価方法

授業中のレポート提出とテストで評価する。具体的には、
学期末試験 70%、授業内レポート 20%、受講態度 10%

テキスト

- ・教科書名：「暗号資産の基本と仕組みがよくわかる本」
- ・著者名：堀 龍市 著
- ・出版社名：秀和システム
- ・出版年 (ISBN)：